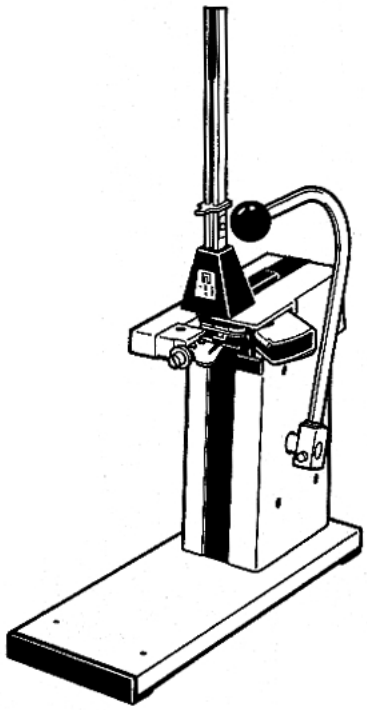
マックス袋とじ機

パックナー
HR-PSII

取扱説明書



⚠ 警 告

- ●使用前に必ず取扱説明書を読む。
- ●使用前に必ず正常に作動するか確認する。正常に作動しない場合は絶対に使用しない。
- ●袋の挿入口・カバー内部・カッタ部に絶対に指を入れない。
- ●移動する時には、絶対にマガジンを持たない。
- ●安定した台に必ず固定する。
- ●異常を感じたら絶対に使用しない。
- ●本機を絶対に改造しない。

MAX®

- ●この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- ●本機の仕様は機能向上ため、予告なしに変更することがあります。

このたびは、マックスパックナーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

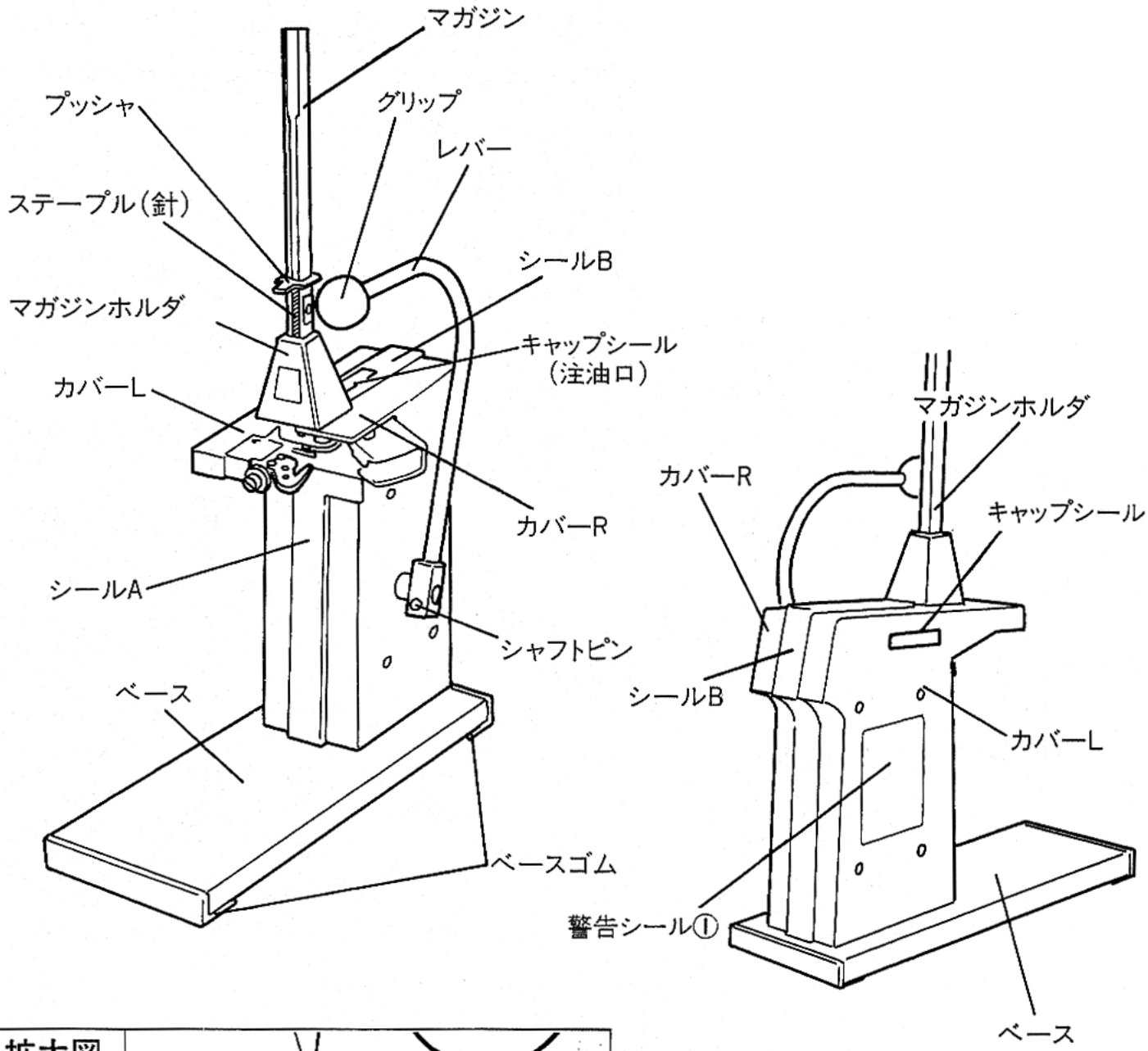
⚠ 警告：この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

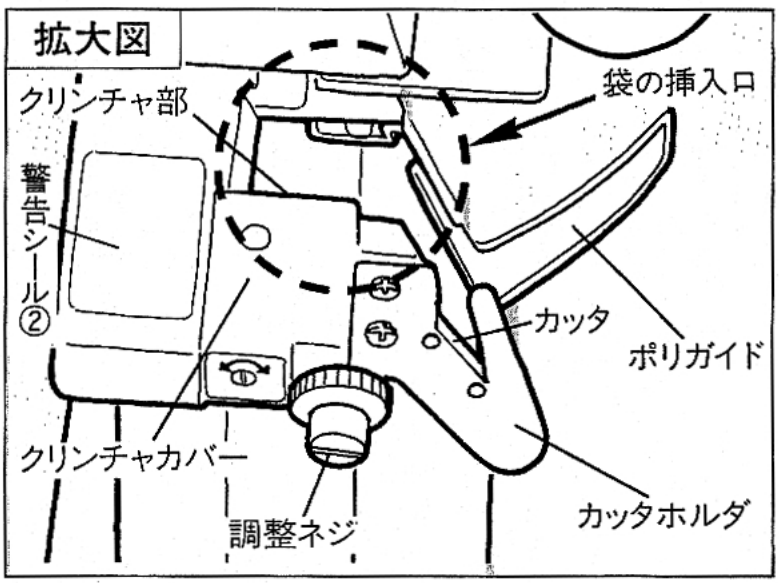
⚠ 注意：この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が損傷を負う危険が想定される場合を表しています。
また、取扱いを誤った場合には、機械本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

目　次

1. 各部の名称 ……1
2. 安全作業のために ……2
3. 仕様及び付属品 ……5
4. 組立・固定方法 ……6
5. 使用方法 ……7
6. ステープルづまりの直し方 ……9
7. カッタ及びクリンチャの交換 ……14
8. 性能を維持するために ……15
9. 分解見取図・部品表 ……17
全国販売拠点、サービス拠点一覧

1 各部の名称


マガジン
プッシャ
グリップ
レバー
ステープル(針)
シールB
マガジンホルダ
キャップシール
(注油口)
カバーL
カバーR
シールA
シャフトピン
ベース
ベースゴム
マガジンホルダ
カバーR
キャップシール
シールB
カバーL
警告シール①
ベース


拡大図
クリンチャ部
袋の挿入口
警告シール②
カッタ
ポリガイド
クリンチャカバー
調整ネジ
カッタホルダ

2 ⚠ 警 告
安全作業のために

本機は、ビニール袋、ネット袋などの袋の口をステープルで結束することを目的とした機械です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

作業前

❶安定した台に必ず固定する。

本機を設置する作業台の安定性が悪いと、倒れたりして危険ですので、必ず安定した台を使用してください。また、作業中に本機が動いたり、倒れたりすることのないよう、付属のクランプで固定してください。

固定は、必ず作業前に行ってください。

❷作業環境に応じた服を着用する。

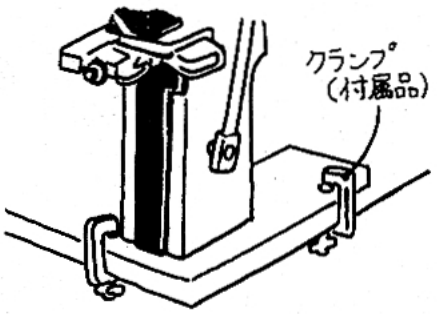
作業のじゃまになったり、機械にはさまれたりすることのないような服・手袋等を着用してください。

❸指定のステープルを必ず使用する。

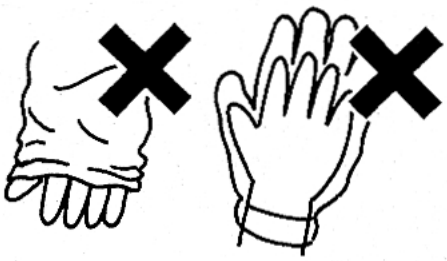
指定されたステープルと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のステープルをご使用ください。(3.仕様及び付属品参照)

⚠ 警 告

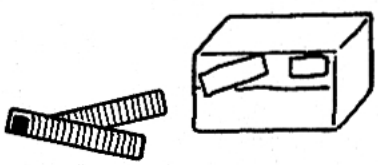
❶



❷



❸



2 ⚠ 警 告
安全作業のために

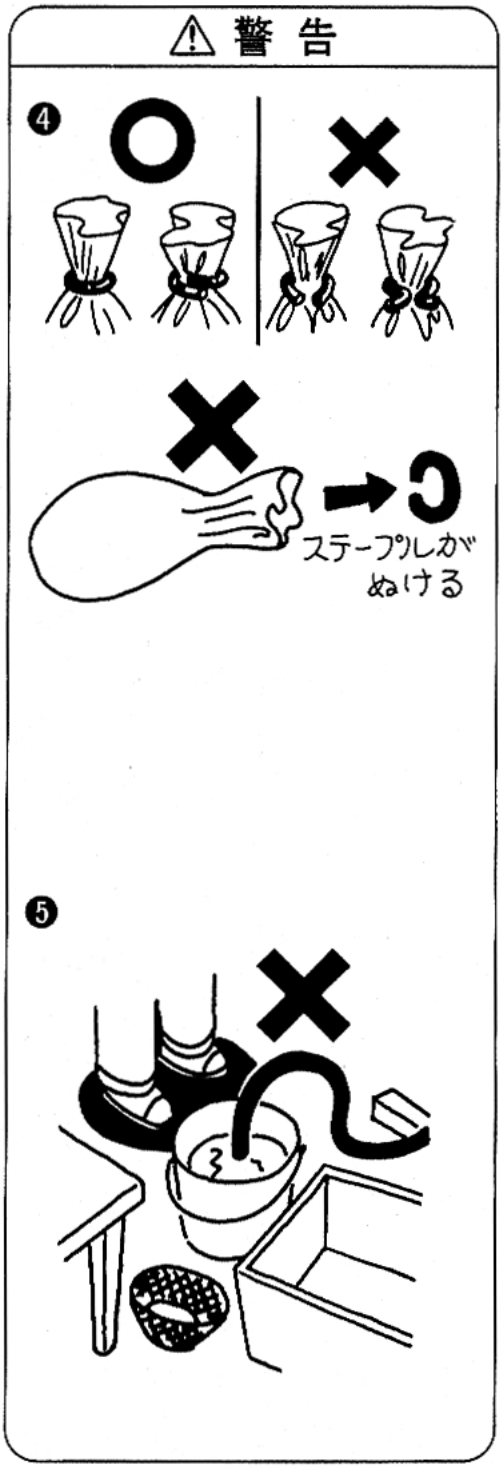
❹使用前に必ず正常に作動するか確認する。正常に作動しない場合は使用しない。

使用前に品物を入れない空の袋を挿入し、本機が正常に作動するか確認してください。そのときに、袋をとじているステープルの形状が図❹の正常な状態になっているか、又、ステープルが袋から抜けないか確認してください。

とじ具合が「きつい」又は「弱い」場合には、5.❹締付け力調整の手順（11ページ）に従って調整してください。又、単純に「きつい」「弱い」という状態ではなく、形状が異常だったり、機械が正常に作動しない場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

❺作業場所を常に整理する。

作業場所が乱雑だとつまづくなどして、思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。



2 ⚠ 警 告
安全作業のために

作業中

❶袋の挿入口（袋を挿入・結束するところ）・カバー内部・カッタ部に絶対に指を入れない。

袋の挿入口・カバー内部は、ドライバ・スライドドライバガイド・ポリガイド等の部品が作動しているところです。また、カッタ部にはカッタがあり、危険ですから絶対に指を入れないでください。

❷２度打ちは絶対にしない。

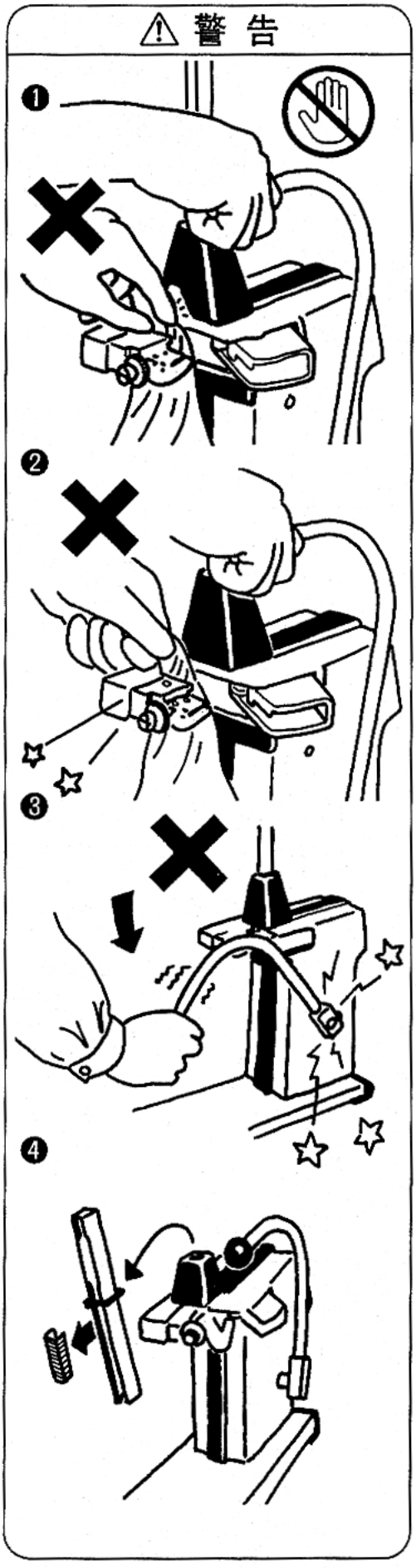
２度打ち（クリンチャ部又はステープルの通り溝にステープルが残っている状態で２重にステープルを打つこと）をすると、本機の破損やトラブル（ステープルづまり等）の原因となります。

❸レバーを無理に動かさない。

レバーが止まる位置よりも無理に押し下げたり、ステープルがつまった場合に無理にレバーを動かすと、本機の破損やトラブルの原因となります。絶対にしないでください。

❹移動する時は、絶対にマガジンを持たない。

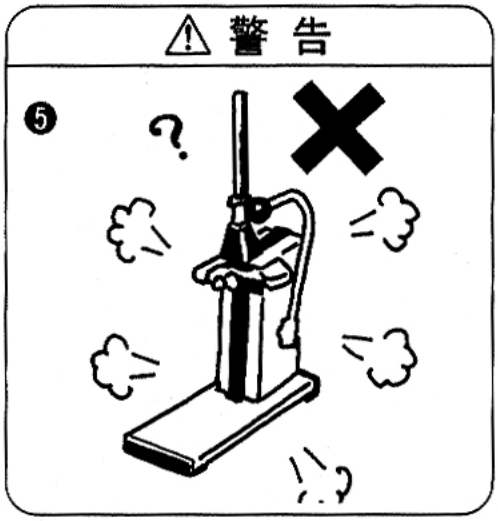
本機移動の時、カバー・マガジン等を持って移動すると、損傷する場合があり、思わぬ事故につながります。危険ですから必ず、ステープル及びマガジンを抜いた後、グリップの底を持って移動してください。



2 ⚠ 警 告
安全作業のために

❺異常を感じたら絶対に使用しない。

作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。



作業後

❶作業終了・修理の時には必ずステープル及びマガジンを抜く。

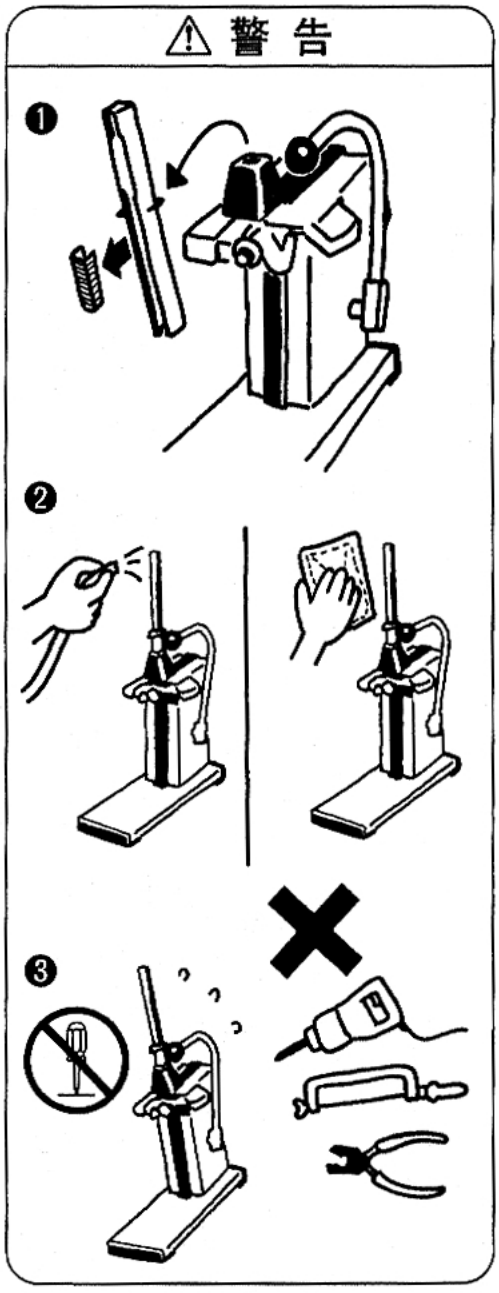
作業終了・機械の修理の時には、必ずステープル及びマガジンを抜いてください。抜き方については、5.❺ステープル及びマガジンの抜き方の手順（11ページ）に従ってください。

❷本機を清掃する。

作業終了の時には、本機の性能維持・故障防止のため、8.❺清掃の仕方の手順（16ページ）に従って、必ず本機を清掃してください。

❸本機を絶対に改造しない。

本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。



3 仕様及び付属品

商品名	マックス袋とじ機 パックナーHR-PSII
商品記号	HR-PSII
寸法	(W) 162×415 (L)×635 (H) mm
重量	6.0kg
使用ステープル	711VO-AR・713VO-AR
ステープル装填数	150本 (3連)
使用オイル	パックナーオイル
スペア部品	クリンチャ (1ヶ)
付属品	クランプ(2ヶ)・スパナ(1本)・六角ナット(2ヶ)・ バネ座金(2ヶ)・パックナーオイル(1本)

※パックナーオイルは別売品です。付属品の
パックナーオイルを使い終りましたら、
お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱
でお買求めください。

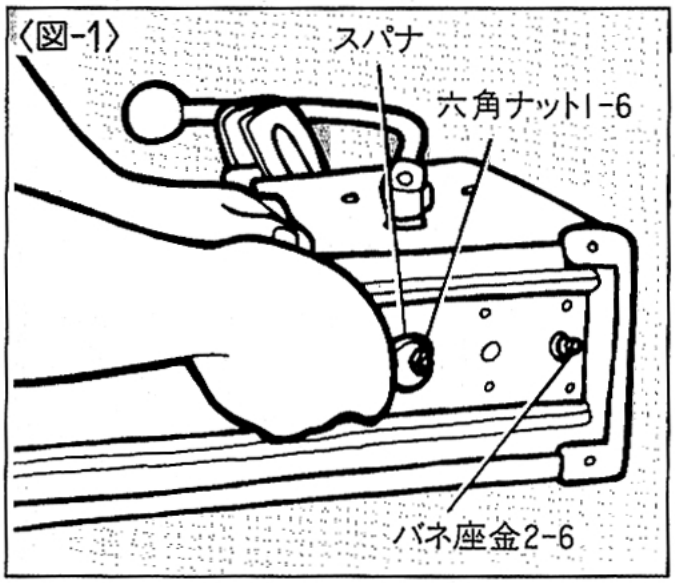
4 組立・固定方法

⚠ 警 告

●安定した台に必ず固定する。

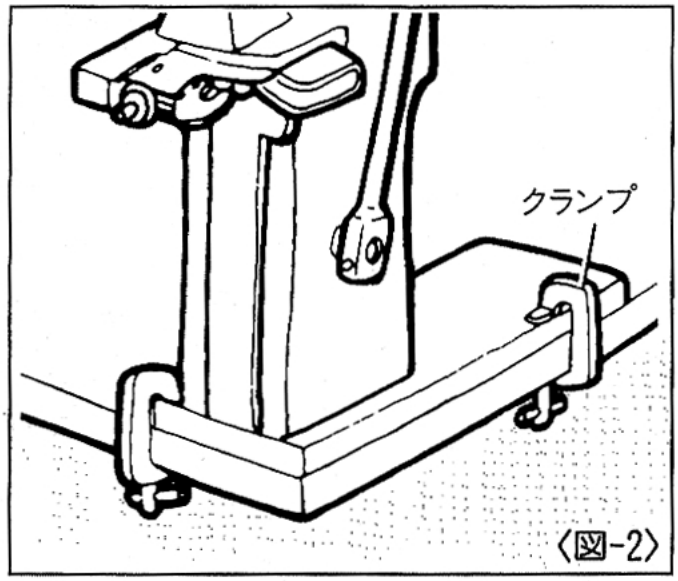
❶本体とベースユニットの組立

本体底面の２つのボルトをベースユニットの穴に差し込み、バネ座金・六角ナットを入れ、付属のスパナで強く締め付けてください。〈図-1〉



❷本機の固定

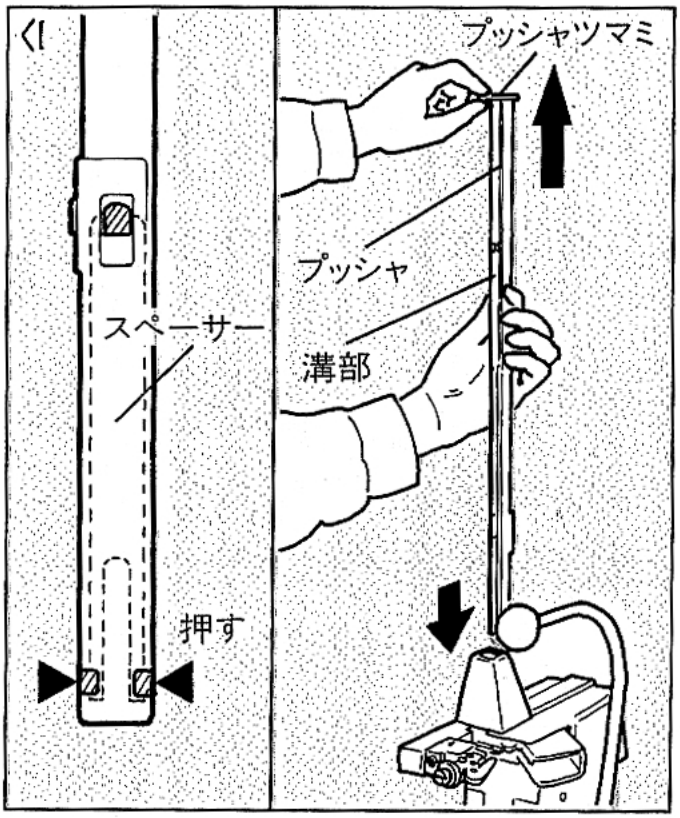
本機の設置位置が決まりましたら、安定した台に付属のクランプで固定してください。〈図-2〉



5 使用方法

❶マガジンのセット

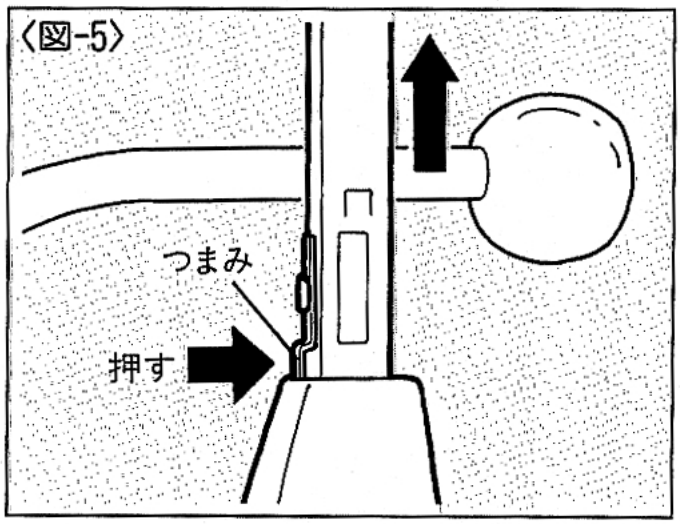
1)マガジンは711ステープル用にセットしてあります。713ステープルを使用する時は、マガジン下部の赤いスペーサを取りはずしてください。 〈図-3〉



2)プッシャツマミを持ち、プッシャをマガジンの最上部まで持ち上げたまま、マガジンの溝部が本機の開口部側にくるようにしてマガジンホルダの穴に入れ、〝カチン〟と音がするまで差し込みます。 〈図-4〉

3)マガジンを抜く時は、プッシャをマガジンの最上部まで持ち上げたまま、つまみを押して引き抜いてください。

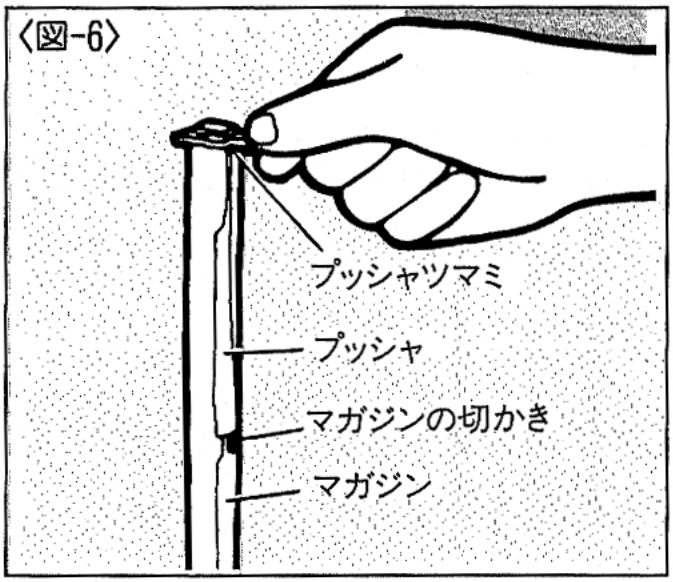
〈図-5〉



※ステープルが入った状態ではつまみは押さないでください。

※プッシャは、マガジンの最上部まで持ち上げ、プッシャの底面をマガジンの切かきに止めると、一時的に固定できます。
〈図-6〉

〈図-6〉



❷ステープルの装填

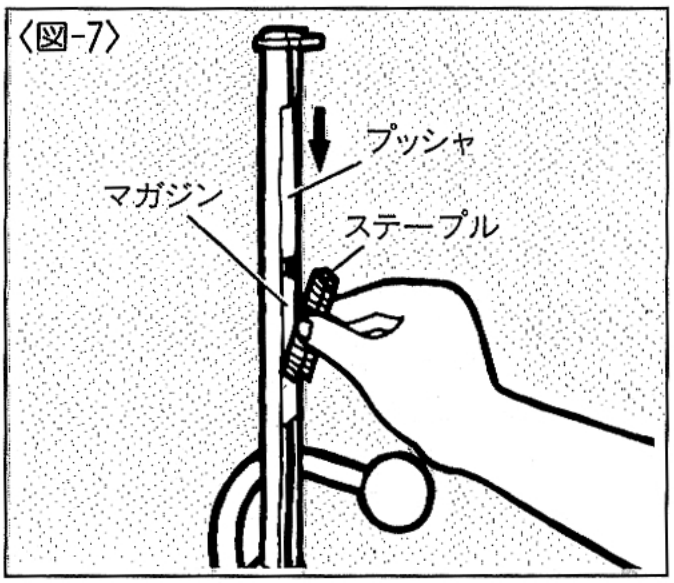
⚠ 警 告

●指定のステープルを必ず使用する。
※3.仕様及び付属品(6ページ)参照

1)プッシャをマガジンの最上部まで持ち上げたまま、ステープルの足が本機の開口部側にくるようにして、マガジン内に装填してください。 〈図-7〉
1度の装填数は、3連(150本)までです。

2)ステープルの装填が終ったら、プッシャを静かに下げてください。

〈図-7〉



❸袋とじ・カット方法

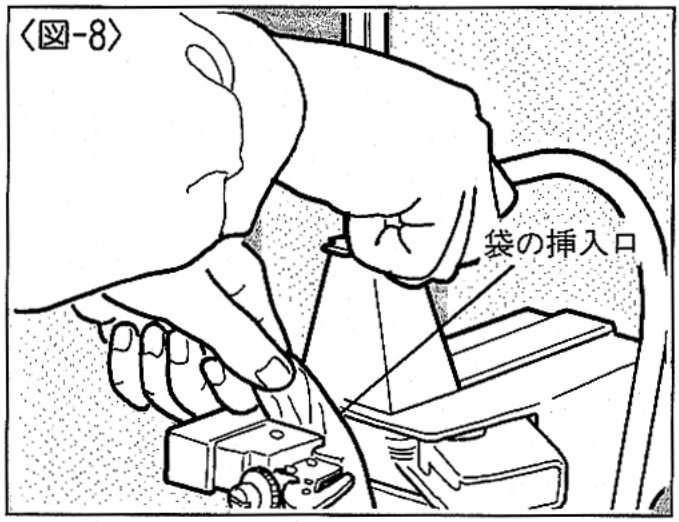
⚠ 警 告

- ●使用前に必ず正常に作動するか確認する。正常に作動しない場合は使用しない。
- ●袋の挿入口・カバー内部・カッタ部に絶対に指入れない。
- ●２度打ちは絶対にしない。
- ●レバーを無理に動かさない。

使用前に必ず正常に作動するか確認してください。

1)品物を入れない空の袋をよくねじり、開口部に入れ左側へ寄せてください。

〈図-8〉



〈図-8〉

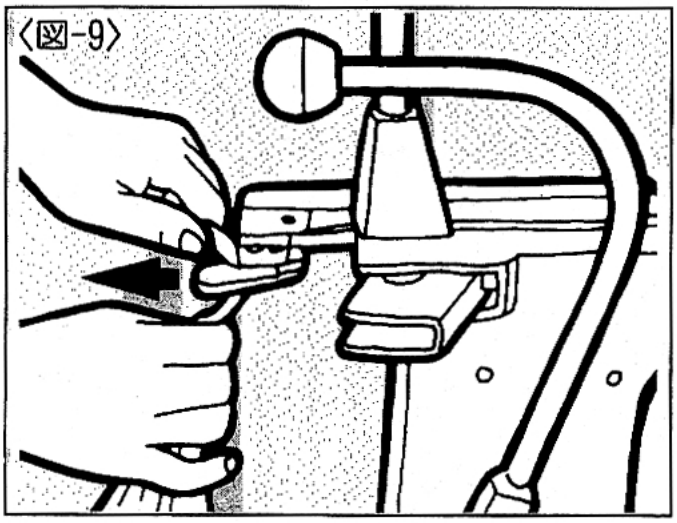
2)レバーをゆっくり、とまるまで押し下げるととじられます。

⚠ 注 意

- ●レバーは必ず最後まで(とまるまで)押し下げる。
  途中でとめるとトラブル（ステープルづまり等)の原因となりますので、絶対にしないでください。

3)余分な部分をカッタで切り取ります。

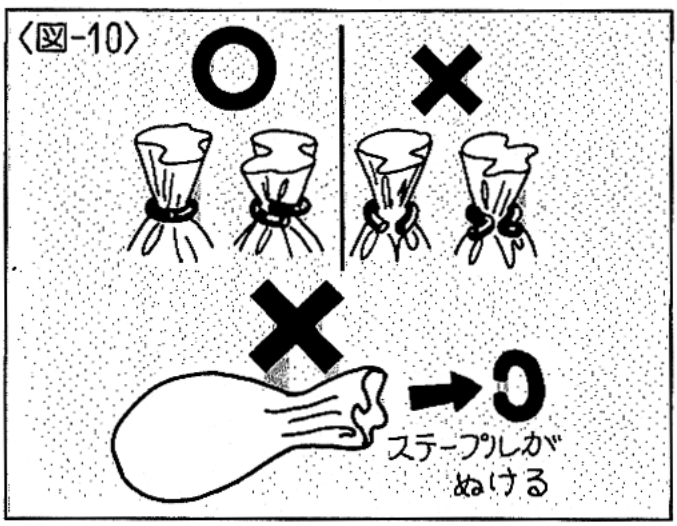
〈図-9〉



〈図-9〉

4)とじ終った袋を取り出したら、袋をとじているステープルの形状が図のような正常な状態になっているか、又ステープルが袋から抜けないか確認してください。とじ具合が「きつい」又は「弱い」場合には次の❹の手順に従って、締付け力を調整してください。

〈図-10〉

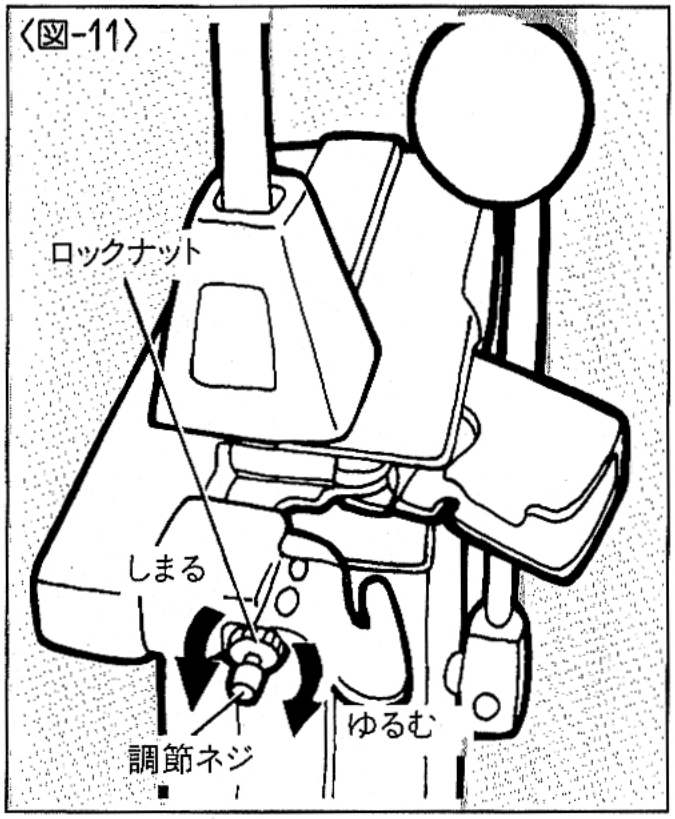


〈図-10〉

❹締付け力調整

❸に従って袋とじを行った結果、袋のとじ具合が「きつい」場合（例：袋がやぶれ水もれする）は、調節ネジを右へ回し、「弱い」場合（例：ステープルが袋から抜ける）は左へ回して調整してください。

〈図-11〉



❺ステープル及びマガジンの抜き方

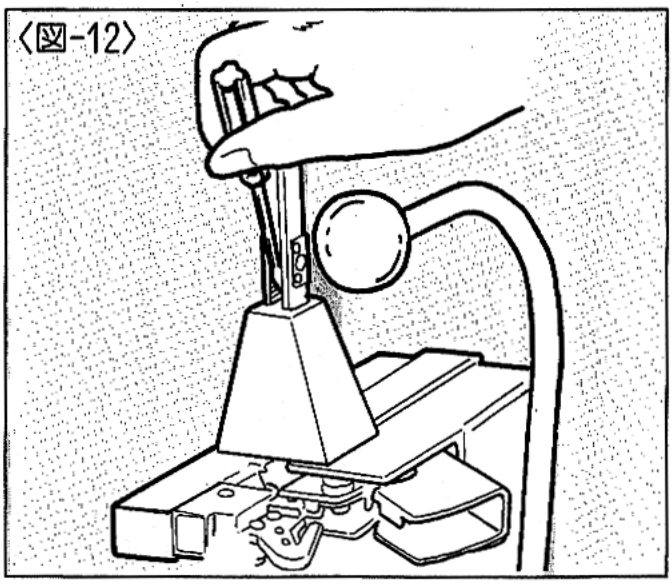
⚠ 警 告

●移動する時、作業終了・修理の時は必ずステープル及びマガジンを抜く。

1）プッシャをマガジンの最上部まで持ち上げ（〈図-6〉9ページ参照）、ドライバ等の工具を用い、ステープルを抜きとります。〈図-12〉

2）5.❶3）に従い、マガジンを抜きます。

〈図-5〉8ページ参照



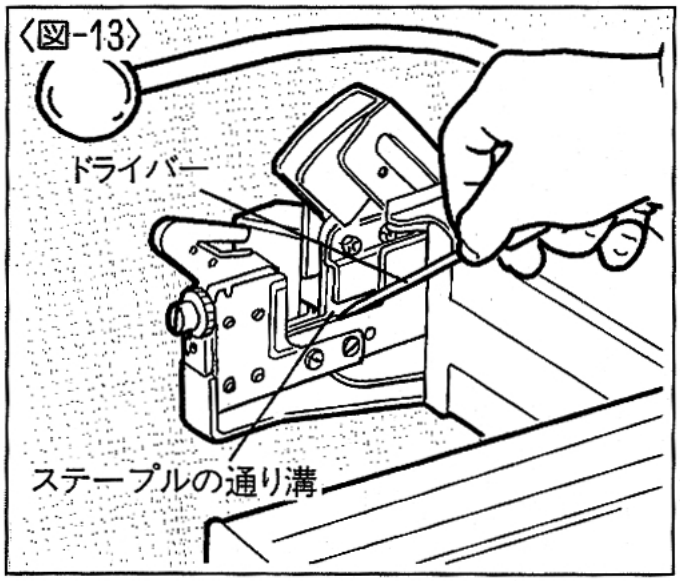
6 ステープルづまりの直し方

⚠ 警 告

●ステープルづまりを直す時は、必ずステープル及びマガジン抜き、指で行わず、ドライバー等の工具を使用する。

●誤って２度打ちをしてしまった場合など、ステープルの通り溝に残留したステープルを取り除く時は絶対に指で行わず、ドライバー等の工具を使って行ってください。〈図-13〉
なお、どうしても取り除けない時は、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に修理に出してください。

〈図-13〉



7 カッタ及びクリンチャの交換

⚠ 警 告

●カッタ交換のとき、刃の部分には絶対に触れない。

❶カッタの交換

カッタが切れなくなった場合には、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱でお買い求めになり、次の手順に従って交換してください。

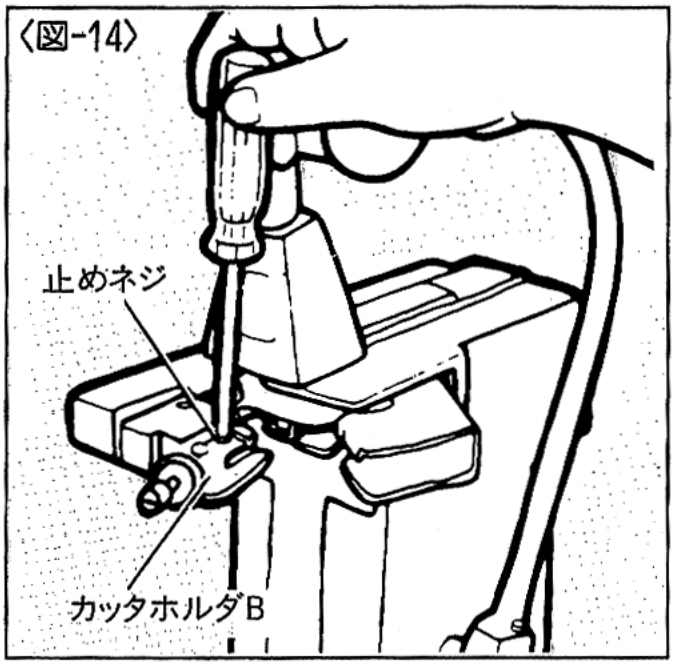
1)カッタホルダBの止めネジ2本をはずし、カッタホルダBを取りはずします。〈図-14〉

2)刃の部分に注意して、カッタを取りはずします。〈図-15〉

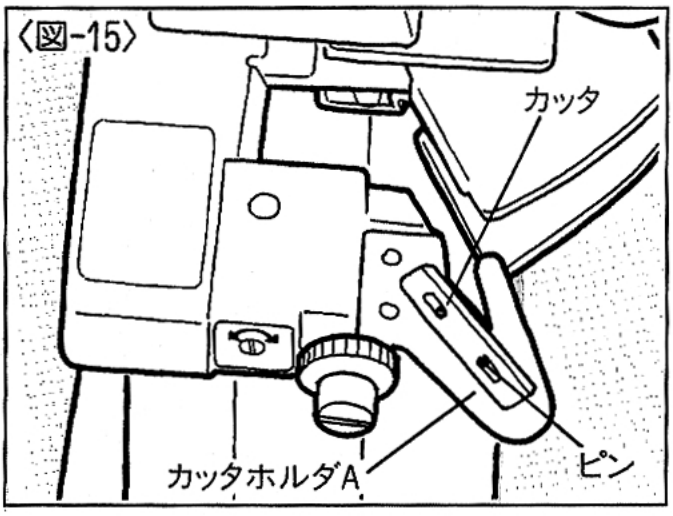
3)カッタホルダAのピンに合わせて、新しいカッタをセットします。〈図-15〉

4)カッタホルダBをかぶせて、止めネジ2本をしめれば完了です。

〈図-14〉



〈図-15〉



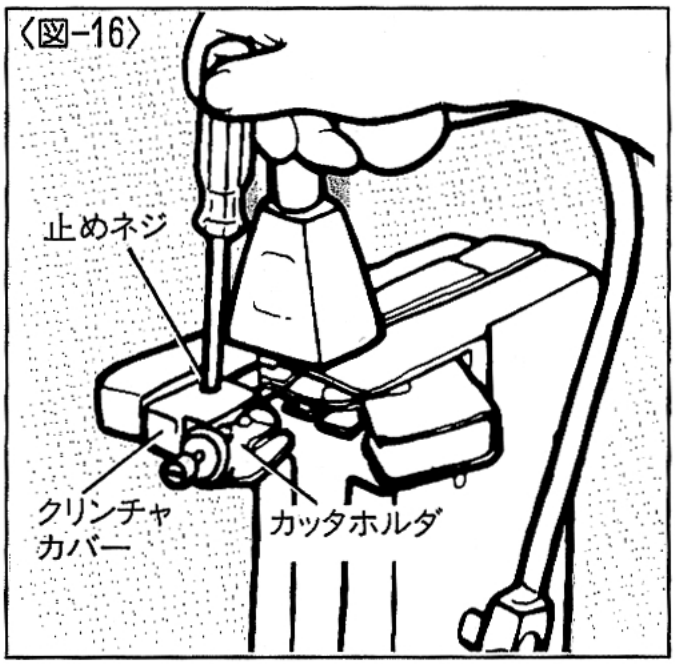
❷クリンチャの交換

クリンチャが磨耗すると、とじ不良の原因となります。

クリンチャの耐久の目安を約5万回とし、次の手順に従って交換してください。

1)クリンチャカバーの止めネジをはずし、クリンチャカバーを取りはずします。〈図-16〉

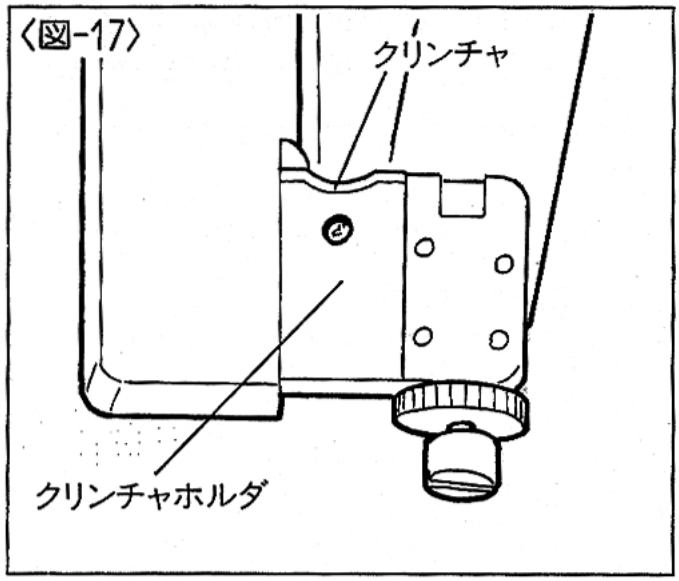
〈図-16〉



2)クリンチャを上方向に引き抜き、新しいクリンチャと交換します。〈図-17〉

3)クリンチャカバーをかぶせ、止めネジをしめれば完了です。

〈図-17〉



❸カッタホルダの取りはずし

カッタを使用しない場合には、カッタホルダを取りはずすことができます。

1)❷の1)の手順に従ってクリンチャカバーを取りはずします。

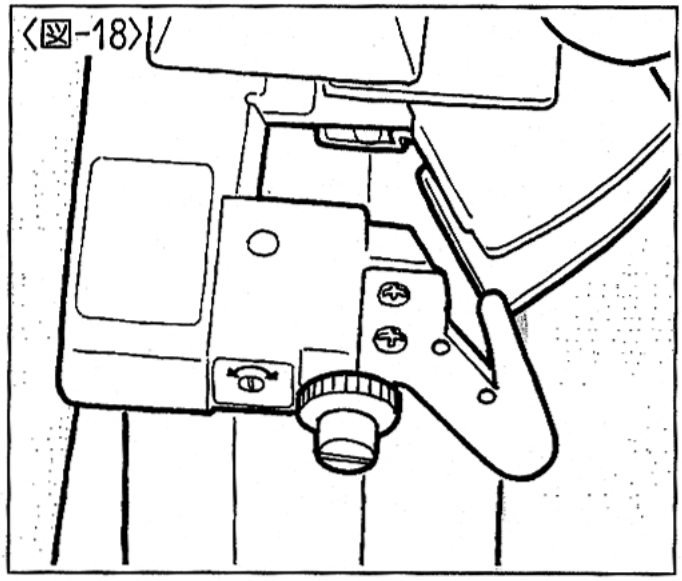
〈図-15〉13ページ参照

2)カッタホルダBの止めネジ2本をゆるめ、カッタホルダB・カッタ・カッタホルダAをセットで取りはずします。

〈図-18〉

3)クリンチャカバーをかぶせ、止めネジ2本をしめれば完了です。

〈図-18〉



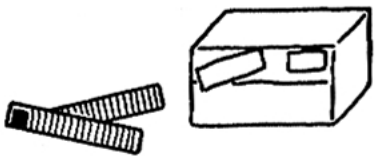
8 性能を維持するために

❶指定オイルを必ず使用する。

オイルは必ず指定オイルをお使いください。他のオイルを使用すると、作動不良や耐久性の低下につながります。(3.仕様及び付属品参照)

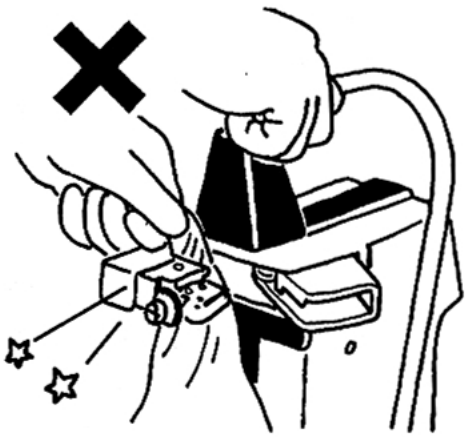
❷指定ステープルを必ず使用する。

指定以外のステープルを使用すると、故障の原因になりますので、必ず指定のステープルをお使いください。(3.仕様及び付属品参照)



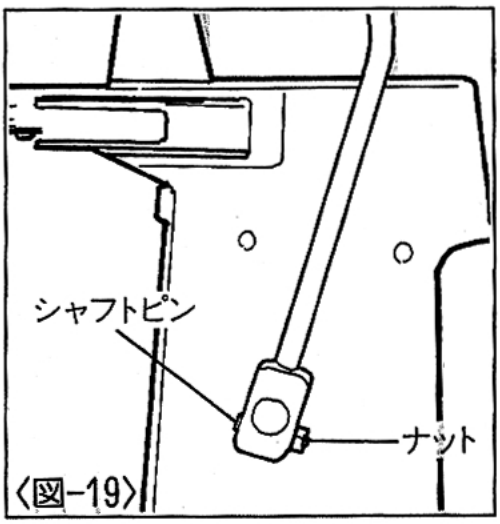
❸2度打ち・空打ち(袋等の結束物を挿入せずにステープルを打つこと)を絶対にしない。

2度打ち・空打ちをすると、本機の破損やトラブルの原因となりますので絶対にさけてください。



❹レバーを無理に動かさない。

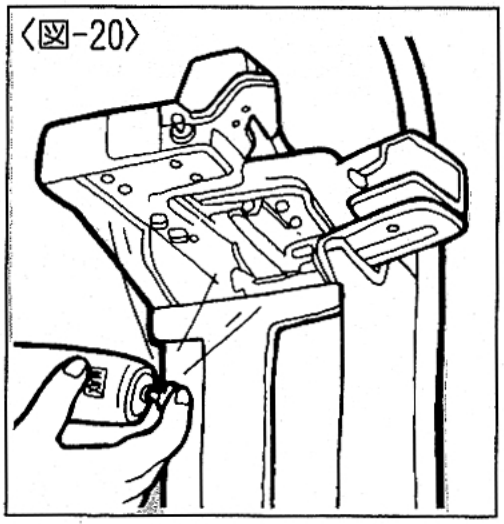
レバーを無理に押し下げると、本機の破損やトラブルの原因となりますので絶対にさけてください。
ステープルがつまった場合には、6.ステープルづまりの直し方(12ページ)に従って、すみやかに取り除いてください。
又、レバーのシャフトピンが緩んだ場合には、必ずナットを緩め直してください。 〈図-19〉



〈図-19〉

❺本機を清掃する。

作業終了の時には、本機の性能維持・故障防止のため、次の手順に従って必ず本機を清掃してください。



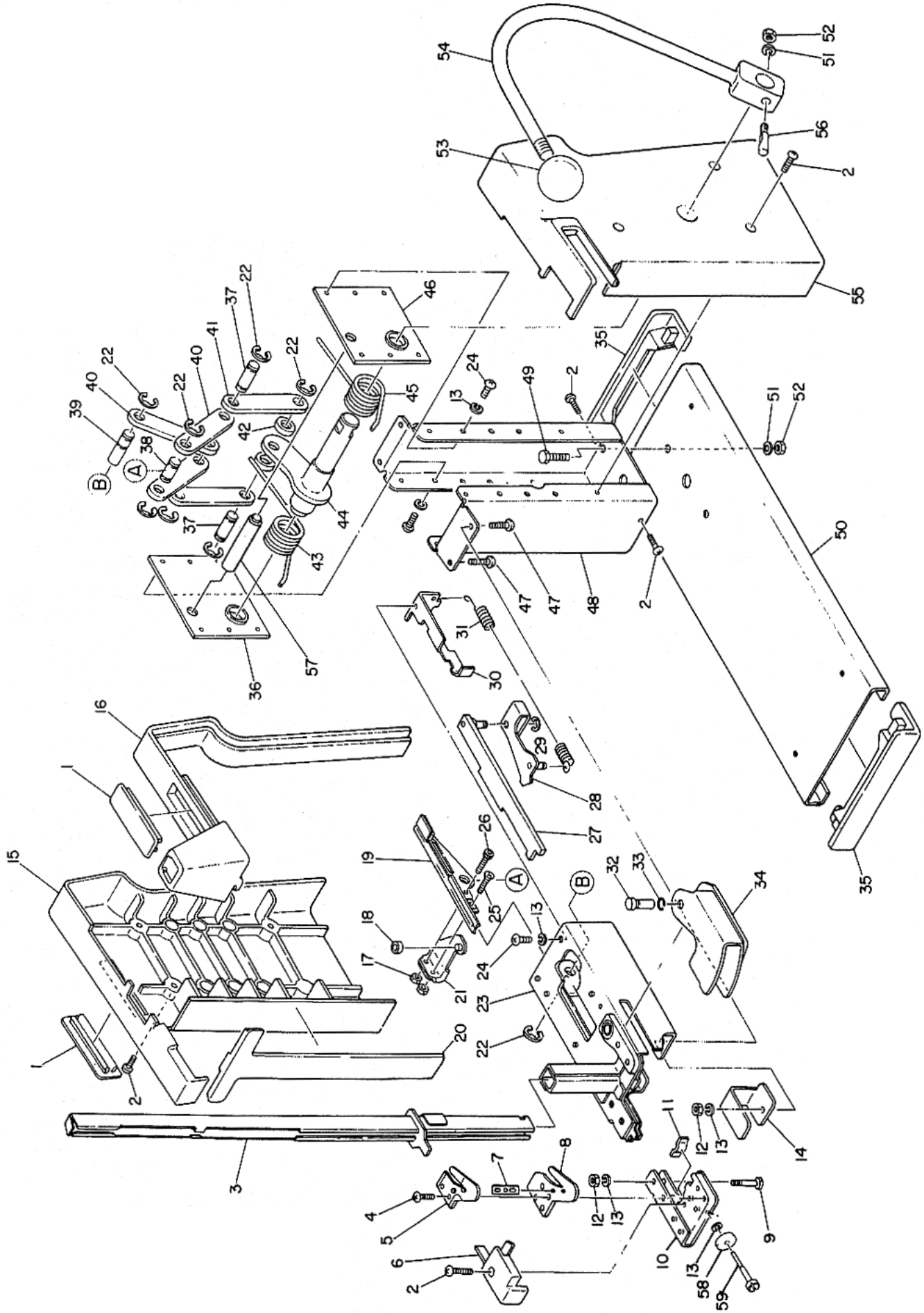
用　途	清　掃　の　仕　方
水　物　包　装 （漬物等）	1)使用後は必ず機械の外側・内部を水洗いしてください。 2)水洗い後しばらく時間をおいてから、パックナーオイルを注油口（キャップシール2ヶ所）及び〈図-20〉の箇所に充分吹き付けてください。
青果物等の 水物以外の包装	1)使用後のゴミや砂ぼこりをきれいに拭き取ってください。 2)パックナーオイルを注油口（キャップシール2ヶ所）及び〈図-20〉の箇所に充分吹き付けてください。

❻定期的に点検する。

本機の性能を維持するために、部品の交換等を行う必要があります。使用回数10万回を目安にオーバーホールを行ってください。

ご用命はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱にお申し付けください。

9 分解見取図・部品表


54
52
51
53
56
2
55
35
46
22
37
41
40
39
38
42
45
24
13
49
51
52
50
47
48
31
30
29
28
27
16
1
15
26
19
25
18
17
21
23
22
20
32
33
34
12
11
14
8
7
4
5
6
9
10
58
59

索引番号	部品番号	部　品　名	索引番号	部品番号	部　品　名
1	HR 10273	キャップシール	31	KK 14003	引張バネ 4003
2	AA 21005	+.ナベ小ネジ 4×10	32	FF 41260	段付ピン 1260
3	HR 10278	マガジンユニット	33	HR 10271	止メ輪
4	AA 21002	+.ナベ小ネジ 4×8	34	HR 10205	ポリガイドユニット
5	HR 10234	カッタホルダ B	35	HR 10227	ベースゴム
6	HR 10609	クリンチャカバー	36	HR 10256	輪受ユニット A
7	HR 10059	カッタ	37	FF 30270	平行ピン 0270
8	HR 10231	カッタホルダ A	38	FF 30252	平行ピン 252
9	HR 10277	固定ネジ	39	FF 30269	平行ピン 0269
10	HR 10228	クリンチャホルダユニット	40	HR 10208	リンク A
11	HR 10232	クリンチャ	41	HR 12011	リンク C
12	CC 41003	六角ナット 1-5	42	HR 10608	リンクカラー
13	EE 11113	バネ座金 2-5	43	KK 34023	捩りコイルバネ 4023
14	HR 10265	ローラプレートガイド	44	HR 10605	メインシャフトユニット
15	HR 10611	カバー L	45	KK 34024	捩りコイルバネ 4024
16	HR 10242	シール B	46	HR 10257	軸受ユニット B
17	CC 41002	六角ナット 1-4	47	AA 21011	+.ナベ小ネジ 5×12
18	HR 10204	ローラ	48	HR 10215	ロワフレーム
19	HR 10198	ドライバユニット	49	BB 71002	六角ボルト 6×18
20	HR 10241	シール A	50	HR 10224	ベースユニット
21	HR 10603	ローラプレートユニット	51	EE 11114	バネ座金 2-6
22	JJ 10001	E トメワ 8	52	CC 41004	六角ナット 1-6
23	HR 10601	アッパフレームユニット	53	HR 10036	グリップ
24	AA 21010	+.ナベ小ネジ 5×6	54	HR 10220	レバーユニット
25	AA 22001	+.サラ小ネジ 4×10	55	HR 10610	カバー R
26	BB 40101	六角穴付ボルト 4×12	56	HR 10223	シャフトピン
27	HR 10290	スライドドライバガイドユニット	57	HR 10614	リンクストッパ
28	HR 10268	シーケンスプレートユニット	58	HR 10236	ロックナット
29	JJ 10002	E トメワ 5	59	HR 10235	調節ネジ
30	HR 10270	ガイドストッパ			

●部品のご注文は必ず部品記号でお願いします。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

MAX®

マックス株式会社

本社・営業本部	〒103 中央区日本橋箱崎町6－6	TEL(03)3669-8121(代)
東京支店	〒103 中央区日本橋箱崎町6－6	TEL(03)3669-8118(代)
札幌店	〒060 札幌市中央区大通り東6－12－8	TEL(011)261-7141(代)
仙台店	〒983 仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL(022)236-4121(代)
名古屋支店	〒461 名古屋市東区徳川1－11－23	TEL(052)935-8531(代)
大阪支店	〒553 大阪市福島区玉川1－3－18	TEL(06)444－2031(代)
広島店	〒733 広島市西区南観音7－11－24	TEL(082)291-6331(代)
福岡支店	〒812 福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL(092)411-5416(代)
盛岡営業所	〒020 盛岡市仙北町下野18－1	TEL(0196)35-5575(代)
多摩営業所	〒187 小平市小川町2－1253	TEL(0423)44-6268(代)
宇都宮営業所	〒321 宇都宮市簗瀬町字榎内2313	TEL(0286)36-3012
柏営業所	〒277 千葉県柏市若柴297－12	TEL(0471)32-1500
南九州営業所	〒891-01 鹿児島市上福元町2578-1サンアベニューIF	TEL(0992)69-5347
新潟マックス㈱	〒955 三条市東裏館2－14－28	TEL(0256)34-2112(代)
水戸マックス㈱	〒310 水戸市松ヶ丘2－3－27	TEL(0292)55-3761(代)
群馬マックス㈱	〒379-22 佐波郡赤堀町大字今井543－2	TEL(0270)62-1123(代)
埼玉マックス㈱	〒331 大宮市日進町3－421	TEL(048)651-5341(代)
千葉マックス㈱	〒284 四街道市大日1870－1	TEL(043)422-7400(代)
横浜マックス㈱	〒241 横浜市旭区さちが丘7－6	TEL(045)364-5661(代)
長野マックス㈱	〒390 松本市笹部1－6－25	TEL(0263)26-4377(代)
長野営業所	〒381-22 長野市青木島1－35－1	TEL(0262)85-6740(代)
静岡マッマス㈱	〒422 静岡市敷地1－3－26	TEL(054)237-6116(代)
金沢マックス㈱	〒921 金沢市森戸2－15	TEL(0762)40-1871(代)
富山営業所	〒930 富山市上飯野字樋向割10-8	TEL(0764)52-0182(代)
福井営業所	〒910 福井市和田東2－1711	TEL(0776)27-3378(代)
岐阜マックス㈱	〒500 岐阜市北一色4－3－5	TEL(0582)47-6121(代)
京滋マックス㈱	〒612 京都府京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL(075)645-5061(代)
兵庫マックス㈱	〒673-04 三木市大村高柳109－1	TEL(07948)3-2121(代)
岡山マッマス㈱	〒702 岡山市福富中1－6－14	TEL(086)264-9581(代)
四国マックス㈱	〒761 高松市上天神町761－3	TEL(0878)66-5599
徳島営業所	〒770 徳島市末広2－1－17	TEL(0886)23-0286(代)
松山営業所	〒790 松山市市坪北1－17－1	TEL(0899)58-4031(代)
マックスサービス㈱本社	〒330 埼玉県大宮市宮原町2－99－5	TEL(048)667-6448(代)
マックスサービス㈱大阪	〒553 大阪市福島区玉川1－3－18	TEL(06)446－0815
マックスサービス㈱名古屋	〒461 名古屋市東区徳川1－11－23	TEL(052)935-8210
マックスサービス㈱福岡	〒812 福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL(092)451-6430
マックスサービス㈱広島	〒733 広島市西区南観音7－11－24	TEL(082)291-5670
マックスサービス㈱仙台	〒983 仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL(022)237-0778(代)
マックスサービス㈱札幌	〒060 札幌市中央区大通東6－12－8	TEL(011)231－6487

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) 0120-22-8358
月～金曜日 午前9時～午後6時

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

G0402